

事業 番号	事業名	事業概要		確定額 (千円)	事業区分
		事業実施により実現できた具体的効果・成果			重点等
	事業者名	実施地等			
		実施期間			
URL					

内7	高温超伝導体の高周波に関する国際会議の開催	<p>高温超伝導材料の高周波デバイスや高周波理論に関する国際会議を5月29日～6月1日に開催し、最新の超伝導エレクトロニクスの研究などを紹介し、大きな成果を上げることが出来た。また宮城県で開催することにより、津波被害を受けた地域の視察などを行うことにより復興へのサポートを行った。</p> <p>High Temperature Superconductors in High Frequency Fields(HTSHFF)シンポジウムは、1990年に第1回が開催され、その後2年に1回の割合で欧米において開催されてきた。この国際会議は、高温超伝導体のマイクロ波に関する理論、実験及びマイクロ波デバイス開発等の成果を専門に発表する会議であり、その分野では世界唯一の、質の高いシンポジウムである。この国際会議では、当初、高温超伝導体のマイクロ波物性に関する理論と計測技術、マイクロ波デバイスの特性評価などが多く発表されていた。1990年代後半から2000年初めにおいて、超伝導フィルタの設計手法や実用化に関する技術的課題などが多く議論されていた。その成果が、現在米国や中国において実用化されている携帯電話の基地局用超伝導フィルタシステムに応用されている。第11回にして始めてアジアで開かれることになり、宮城県松島町で3日間開催した。日本で開くにあたり、日本独自の超伝導研究の紹介や、現在進行している超伝導エレクトロニクスに関するプロジェクト紹介などを取り入れた。前者は、高温超伝導体のテラヘルツ波発振や気象レーダ用超伝導フィルタシステムの研究である。後者は、JST先端的低炭素化技術開発(ALCA)、JST戦略的イノベーション創出推進事業(S-イノベ)、戦略国際共同研究、先端計測などのプロジェクトを紹介した。本シンポジウムで、最新の超伝導エレクトロニクスの研究、実用化デバイス、基本理論などを紹介することができ、大きな成果を上げることができた。</p>	650	国際会議
	高温超伝導高周波国際会議組織委員会	<p>宮城</p> <p>【実施期間】2012/5/29～2012/6/1</p>		
	<p>http://htshff2012.yz.yamagata-u.ac.jp</p>			